

家庭科評価基準（第5・6年）

二之江小学校

題材名	ガイダンス			教科書のページ	表 2～p.5
配当時数	1 時間	活動時期	4 月	学習指導要領の内容	A(1)

題材の目標		第4学年までの学習や生活を振り返る中で自分の成長を自覚するとともに、家庭科に関心を持ち、学ぶ内容や学び方、教科のねらいなどを理解し、見通しをもって2年間の学習に取り組もうとする意欲をもつ。
題材の 観点別 評価規準	知識・技能	家庭科の目標や内容並びに生活を見つめる見方・考え方や学び方について理解することができる。また、これまでの自分の成長した点やそれを支えてきた家庭生活や家族の大切さに気付くことができる。
	思考・判断・表現	これからできるようになりたいこと、やってみたいことなどを考えることを通して、2年間の家庭科学習への見通しをもつことができる。
	主体的に学習に取り組む態度	これまでの自分の成長した点を挙げるとともに、それを支えてきた家庭生活や家族の大切さに気付き、2年間の学習を見通して自分と家族の生活をよりよくしようとする意欲をもっている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 自分の成長を見つめよう ★他教科との関連: 特別活動, 生活, 社会, 理科			
・第4学年までの学習と生活の中で家庭科に関連することを探してみよう。 <div style="text-align: right;">表 2</div>	0.25	①イラストを参考にして、第4学年までの学習や生活の中で、できるようになったことなどを発表し合う。 ②また、家庭で行って家族に喜ばれたりした経験等を発表し合い、自分の成長を支えている家庭生活や家族の大切さに気付くことができるようにする。	[思判表] 発言・記録
(2) 2年間の学習を見通して、知りたいことやできるようになりたいことを書いてみよう			
・2年間の学習を見通し、知りたいことやできるようになりたいことを書いてみよう。 <div style="text-align: right;">p.1～3</div>	0.5	①p.1～2の目次により、学習内容を理解する。 ②p.2「いつも確かめよう」などを参照しながら、家庭科で知りたいことやできるようになりたいことを書く。	[知技] 発言・行動観察 [思判表] 発言・記録 [態度] 発言・行動観察
(3) 家庭科の学び方や生活の見方・考え方を知り、どんな自分を目指して学んでいきたいか発表し合おう。			
・家庭科の学び方や生活の見方・考え方を知り、どんな自分を目指して学んでいきたいか発表し合おう。 <div style="text-align: right;">p.4～5</div>	1	①やりたいことやできるようになりたいことを発表し合い、p.4「学習の進め方」を参照して学び方を理解する。 ②また、p.4「家庭科の窓」に示された生活の見方・考え方と自分の願いがどう関連しているのかを考える。 ③家庭科ではどんな自分を目指したいかを発表し合う。	[思判表] 発言・記録 [態度] 発言・行動観察

二之江小学校 指導計画・評価規準 5・6年

題材名	1. 私の生活, 大発見		教科書の ページ	p.6~13
配当時数	4 時間	活動時期	4 月	学習指導要 領の内容
				A(2)アイ, B(2)ア(イ)

題材の目標		家庭の仕事について、家族との協力などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識を身に付け、家族の一員として、家庭の仕事の計画を工夫することができる。
題材の 観点別 評価規準	知識・技能	家庭には、家庭生活を支える仕事があり、互いに協力し分担する必要があることを理解している。
	思考・判断・表現	家庭の仕事について課題を見つけ、その解決を目指し、知識を活用して家族との協力などの視点から、家庭の仕事の計画を考え、工夫することができる。
	主体的に学習に 取り組む態度	家族との協力などの視点から、家庭の仕事をよりよく理解しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) どんな生活をしているのかな			
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭にある仕事を見つけよう。 自分や家族がどのように取り組んでいるか見てみよう。 <p style="text-align: right;">p.6~7</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ①自分の1日の生活を見つめ、家族の存在や家族が協力して家庭の仕事を担って支え合っていることに気付く。 	[思判表]発言・記録
(2)自分にできそうな家庭の仕事を見つけよう			
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭で使う用具を知り、その用具を使って活動してみよう。 <p style="text-align: right;">p.8~12</p>	2	<ul style="list-style-type: none"> ①家庭科室の正しい使い方や、安全面の注意点を理解する。 ②家庭の仕事の道具の一つであるガスコンロの正しい使い方を知り、お茶をいれる。 ③協力してお茶をいれ、後片づけをする。 	★他教科との関連:理科 [知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
(3)できることを増やしていこう			
<ul style="list-style-type: none"> ・家族の一員として、進んで家庭生活に関わる計画を立てよう。 <p style="text-align: right;">p.13</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ①家族の一員として自分にできることを見つけて実践の計画を立てる。 	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察

題材名	2. おいしい楽しい調理の力			教科書のページ	p.14～23
配当時数	6時間	活動時期	5～6月	学習指導要領の内容	B(2)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)イ

題材の目標		ゆでる調理について、健康・快適・安全などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、おいしく食べるための調理計画を考え、調理の仕方を工夫することができる。
題材の観点別評価規準	知識・技能	「ゆでる」調理に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	基礎的な「ゆでる」調理について、課題を見つけ、その課題の解決を目指して、知識及び技能を活用して健康・快適・安全などの視点から、おいしく食べるための調理計画や調理の仕方を考え、工夫することができる。
	主体的に学習に取り組む態度	健康・快適・安全などの視点から、「ゆでる」調理の知識及び技能をよりよく身に付けようとしている。また、調理計画や調理の仕方をよりよく工夫しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)調理の目的や手順を考えよう			
・調理の目的や手順を考えよう。 p.14～15	1	①教科書 p. 14 の写真を見て、材料をどのように調理すると美味しく食べられるか考える。 ②調理することで、どのようなよい点があるのか話し合う。	[思判表]発言・記録
(2)ゆでる調理をしよう			
・食品や調理の目的に合ったゆで方が分かり、安全にいろいろな野菜やいもがゆでられるようになる。 p.16～21	4	①野菜やいもの種類によってゆで方の違いを考える。 ②青菜とじゃがいもをゆで、ゆでる前とゆでた後の変化について調べる。 ③切り方やゆで方、調理の手順を確認し、好みに合ったゆで野菜サラダを作る。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
(3)工夫しておいしい料理にしよう			
・ゆでる調理の仕方を工夫したりして、食事作りに生かそう。 p.22～23	1	①調理実習をふり返り、上手にできた点や課題点を出し合い、おいしく調理するための野菜のゆで方のポイントを話し合う。 ②学んだことを生かして、家庭でゆで野菜サラダを作る計画を立てる。	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察

題材名	3. ひと針に心をこめて			教科書のページ	p.24～30
配当時間	9 時間	活動時期	7 月	学習指導要領の内容	B(4)ア(イ), (5)ア(ア)(イ)イ

題材の目標		生活を豊かにするための布を用いた手ぬいの製作について、健康・快適・安全の視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、製作計画を考え、製作を工夫することができる。
題材の観点別評価規準	知識・技能	手ぬいの製作に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	手ぬいの製作について、課題を見つけ、解決を目指して、知識及び技能を活用して生活を豊かにするために、健康・快適・安全などの視点から、製作計画を考え、製作を工夫することができる。
	主体的に学習に取り組む態度	健康・快適・安全などの視点から、手ぬいの製作に関する知識及び技能をよりよく身に付けようとしている。また、製作計画や製作をよりよく工夫しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)針と糸を使ってできること			
・針と糸を使ってできることを見つけよう。 p.24	1	①針と糸を使ってできることを自分の家庭生活とも関連付けながら見つけて話し合う。	[思判表]発言・記録
(2)手ぬいにトライ！			
・玉結び・玉どめ・なみぬい・返しぬい・ボタン付けが正しく安全にできるようになろう。 p.25～29	7	①裁縫用具の名前や安全な扱い方を考える。 ②玉結び・玉どめ・ボタン付け・なみぬい・返しぬい・かがりぬいについて、各技能を理解する。 ③目的に応じたぬい方を考える。 ④小物製作について、手順を考えながら計画を立てる。 ⑤小物を製作する。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
(3)手ぬいのよさを生活に生かそう			
・手ぬいのよさを生かしてやってみたいことを考え、計画しよう。 p.30	1	①ステップ1, 2の学習をふり返り、交流する。 ②今後、自分の生活に生かせそうなことを考える。	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察

題材名	4. 持続可能な暮らしへ 物やお金の使い方		教科書のページ	p.32～39
配当時数	7 時間	活動時期	9 月	学習指導要領の内容 C(1)ア(ア)(イ)イ, (2)ア イ

題材の目標		物や金銭の使い方と買い物について、持続可能な社会の構築などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、消費者として、物の選び方、買い方、使い方を考え、工夫することができる。
題材の 観点別 評価規準	知識・技能	物や金銭の使い方と買い物、環境に配慮した生活に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	物や金銭の使い方と買い物、環境に配慮した生活について課題を見つけ、その課題の解決を目指して、知識及び技能を活用して持続可能な社会の構築などの視点から、物の選び方、買い方、使い方を考え、工夫することができる。
	主体的に学習に取り組む態度	物や金銭の使い方と買い物、環境に配慮した生活について、持続可能な社会の構築などの視点から、知識及び技能をより深く身に付けようとしている。また、物の選び方、買い方、使い方をよりよくしようと工夫している。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)上手に選ぶために考えよう			
<ul style="list-style-type: none"> 消費者の役割とは何か考えよう。物を手に入れるためのいろいろな方法を見つけよう。 <p>p.32～33</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ①イラストを参考に、私たちはどのように物と関わって生活しているのかを考える。 ②消費者の役割について考える。 ③どのような方法で必要なものを手に入れるのかについて考える。 	[思判表]発言・記録
(2)買い物の仕方について考えよう			
<ul style="list-style-type: none"> 目的に合った選び方、買い方ができるようにしよう。 <p>p.34～37</p>	5	<ul style="list-style-type: none"> ①買い物の中で契約が成立する場面を考える。 ②買い物の方法や支払いの方法を考える。 ③買い物をするとき、何をどのように選ぶか、買い方の手順を考える。 ④買い物の場面を想定して、情報を集め、整理し、何を選ぶかを決める。 	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
(3)上手に暮らそう			
<ul style="list-style-type: none"> 上手な物の選び方、使い方の学習を生かして、環境に配慮した生活を工夫しよう。 <p>p.38～39</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ①消費者として持続可能な生活について、買い物と環境とのかかわりを知る。 ②自分らしい持続可能な生活の工夫を、カードなどにまとめて発表したり、発信したりする。 	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察

題材名	5. 食べて元気！ご飯とみそ汁			教科書のページ	p.40～49
配当時数	10 時間	活動時期	10～11 月	学習指導要領の内容	B(1)ア, (2)ア(ア)(イ)(ウ)(オ)イ, (3)ア(ア)(イ)

題材の目標		食事の役割と栄養, 伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理について, 健康・快適・安全などの視点から, 課題をもって, 基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け, 調理計画を考え, 調理の仕方を工夫することができる。
題材の観点別評価規準	知識・技能	食事の役割と栄養, 伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理について, 基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	食事の役割と栄養, 伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理について, 課題をみつけ, その課題の解決を目指して, 知識及び技能を活用して楽しくおいしく食べるために, 健康・快適・安全などの視点から, 調理計画や調理の仕方を考え, 工夫することができる。
	主体的に学習に取り組む態度	健康・快適・安全などの視点から, 食事の役割と栄養, 伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理についての知識及び技能をよりよく身に付けようとしている。また, 調理計画や調理の仕方をよりよく工夫しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)毎日の生活を見つめよう			
・毎日の食事をふり返り, どのような物を食べているのか考えよう。 p.40	1	①教科書の写真の料理にはどのような食品が使われているのかを考え, 何のためにいろいろな食品を組み合わせで食べているのかを話し合う。 ②ご飯とみそ汁の作り方や食事の必要性について, これから学んでいくことを知り, 学習の見通しを立てる。	[思判表]発言・記録
(2)日常の食事のとり方を考えて, 調理しよう		★他教科との関連: 社会, 理科, 体育	
・伝統的な日常食であるご飯とみそ汁を作ろう。また, 食事の役割や栄養バランスを考えよう。 p.41～47	8	①米やみそについて知り, ご飯のたき方を調べる。 ②ご飯をたきながら, たかれている様子を観察する。 ③だしについて知り, みそ汁の作り方を調べる。 ④計画に沿って, みそ汁を調理する。 ⑤栄養素の種類と働きについて知る。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
(3)食生活を工夫しよう			
・ご飯やみそ汁の調理で身についたことを家庭生活に生かそう。 p.48～49	1	①調理実習をふり返り, ご飯とみそ汁をおいしく作るためのポイントを話し合う。 ②学んだことを生かして, 「わが家のとっておきのみそ汁」を考える。	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察

題材名	6. 物を生かして住みやすく			教科書のページ	p.50～57
配当時数	7 時間	活動時期	11～12 月	学習指導要領の内容	B(6)ア(イ)イ C(2)アイ

題材の目標		気持ちのよい住まい方について、「健康・快適・安全」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、住まいの整理・整頓や清掃の仕方、環境や資源を大切にされた物の使い方などを考え、工夫することができる。
題材の観点別評価規準	知識・技能	住まいの整理・整頓や清掃の必要性や仕方を理解し、手順に沿って適切に行うことができる。
	思考・判断・表現	気持ちのよい住まい方について課題を見つけ、その解決を目指して、知識や技能を活用して整理・整頓や清掃の仕方、環境や資源に配慮した物の使い方などを考え、工夫することができる。
	主体的に学習に取り組む態度	「健康・快適・安全など」の視点から、住まいの整理・整頓や清掃の仕方を理解し、住まいの整理・整頓や清掃、物の使い方などを考え、よりよく工夫しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)身の回りや生活の場を見つめよう			
・身の回りを気持ちよい場所にするために必要な仕事を見つけよう p.50～51	1	①扉の写真を見て、困ることは何か、またどう改善したらよいかを話し合う。	[思判表]発言・記録
(2)身の回りをきれいにしよう			
・整理・整頓や掃除の必要性が分かり、それらの適切な仕方を考え、手順に沿って実践しよう。 p.52～55	5	①手順に沿って道具箱の整理・整頓をし、工夫したことを話し合う。 ②学校内の汚れを調べて記録する。 ③その記録を基に毎日のそうじの問題点や改善点を話し合う。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
(3)物を生かして快適に生活しよう ★他教科との関連:社会			
・これまでに学習したことを生かして気持ちよく住むための計画を立てよう。 p.56～57	1	①自分の地域ごみの出し方の決まりを調べてまとめる ②学習したことを下級生に伝え、学校や家庭、地域で活用する計画を立てる。	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察

題材名	7. 気持ちがつながる 家族の時間			教科書のページ	p.58～60
配当時数	2 時間	活動時期	12 月	学習指導要領の内容	A(3)ア(ア)イ

題材の目標		家族との関わりについて、家族の協力などの視点から、課題をもって、家族とのふれ合いや団らんの大切さを理解し、よりよい関わりを考え、工夫することができる。
題材の 観点別 評価規準	知識・技能	家族とのふれ合いや団らんの大切さについて理解している。
	思考・判断・表現	家族とのふれ合いや団らんについて、課題を見つけ、その課題の解決を目指して、家族の協力などの視点から、知識を活用してよりよい関わりについて考え、工夫することができる。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の協力などの視点から、家族とのふれ合いや団らんについて、知識をより深く身に付けようとしている。また、その関わりについて、よりよくしようと工夫している。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)家族とふれ合う時間を見つけよう			
・ 団らんのよさを見つけよう。 p.58	0.5	①教科書 p. 58 の 4 つのイラストに描かれた家族のふれ合いや団らんの様子を見ながら、自分の家庭をふり返り、団らんのよさを見つける。	[思判表]発言・記録
(2)わが家流団らんタイム			
・ 団らんを持つ計画をし、実践しよう。 p.59	1	①「わが家流団らんタイム」の計画を考え、実践する。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
(3)団らんを生活の中に生かそう			
・ 家族のつながりを深めるための工夫をして、生活の中で実践しよう。 p.60	0.5	①友達の工夫やアドバイスを参考にし、さらに豊かな家庭生活にするために、家族とのつながりを深める工夫をする。	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察

題材名	8. ミシンにトライ！ 手作りで楽しい生活			教科書のページ	p.62～72
配当時間	11 時間	活動時期	1～3 月	学習指導要領の内容	B(5)ア(ア)(イ)イ

題材の目標		生活を豊かにするための布を用いたミシンぬいによる製作について、健康・快適・安全などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、製作計画を考え、製作を工夫することができる。
題材の観点別評価規準	知識・技能	ミシンぬいによる製作に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	ミシンぬいによる製作について、課題を見つけ、その課題の解決を目指して、知識及び技能を活用して生活を豊かにするために、健康・快適・安全などの視点から製作計画を考え、製作を工夫することができる。
	主体的に学習に取り組む態度	健康・快適・安全などの視点から、ミシンぬいによる製作の知識及び技能をよりよく身に付けようとしている。また、製作計画や製作をよりよく工夫しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)ミシンぬいのよさを見つけよう			
<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの布製品を見つめ、ミシンでぬわれた物の特徴を見つけよう。 <p>p.62～63</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ① 体育着袋や手さげなど、学校生活で使っている布製品を観察し、分かったことを話し合う。 ② 手ぬいと比べるなどして、ミシンぬいの特徴を理解する。 	[思判表]発言・記録
(2)ミシンにトライ！			
<ul style="list-style-type: none"> 安全なミシンの使い方を身に付け、計画を立てて生活に役立つものを作ろう。 <p>p.64～71</p>	9	<ul style="list-style-type: none"> ① ミシンの各部の名前を覚えながら、正しいミシンの使い方や気を付けることを考える。 ② 安全に気を付けながら、ミシンの使い方を練習する。 ③ 製作する物を決める。 ④ 材料や手順を考えて計画を立てる。 ⑤ 製作する。授業の終わりには、毎回、ふり返りをする。 	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
(3)世界に一つだけの作品を楽しく使おう			
<ul style="list-style-type: none"> 手ぬいやミシンぬいのよさに気づき、作品やぬい方を生活に生かそう。 <p>p.72</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ① 製作した作品を友達と見せ合い、どのように生活に役立たせるか、生活を楽しくできるかを話し合う。 ② 友達の作品を参考にして、次にミシンを使って製作したい物を考える。 	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察

題材名	9. 見つめてみよう 生活時間			教科書のページ	p.74～77
配当時数	2 時間	活動時期	4 月	学習指導要領の内容	A(2)アイ

題材の目標		生活時間について、家族との協力などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識を身に付け、家族の一員として、生活時間の使い方を考え、工夫することができる。
題材の 観点別 評価規準	知識・技能	生活時間の有効な使い方について理解している。
	思考・判断・表現	生活時間について課題を見つけ、その解決を目指して、知識を活用して生活時間の使い方を考え、工夫することができる。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、家族との協力の視点から、生活時間の有効な使い方を理解し、その使い方を考え、よりよく工夫しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)生活時間を見つめてみよう		★他教科との関連: 体育, 道徳	
・ 1 日の生活の仕方を調べ、生活の課題を見つけよう。 p.74～75	0.5	①時間軸で自分の生活を書き出して、協力の視点で見直し、工夫できることを見つける。	[思判表]発言・記録
(2)生活時間を工夫しよう			
・ 生活時間の有効な使い方を工夫しよう。 p.75～76	1	①「わが家のすてき時間作戦」を考え、生活時間の有効な使い方を工夫する。 ②発表交流会をして、実践について評価・改善をする。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
(3)生活時間を有効に使おう			
・ 生活時間の有効な使い方を工夫して、生活に生かそう。 p.77	0.5	①友だちの工夫やアドバイスを参考にさらに豊かな家庭生活を作るため、生活時間の有効な使い方を工夫する。	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察

題材名	10. 朝食から健康な1日の生活を			教科書のページ	p.78～85
配当時数	10 時間	活動時期	4～5 月	学習指導要領の内容	B(1)ア, (2)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)イ, (3)ア(ア)(イ)

題材の目標		朝食の役割と栄養, いためる調理について, 健康・快適・安全などの視点から, 課題をもって, 基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け, 調理計画を考え, いためる調理の仕方を工夫することができる。
題材の観点別評価規準	知識・技能	朝食の役割と栄養, いためる調理について, 基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	朝食の役割と栄養, いためる調理について, 課題をみつけ, その課題の解決を目指して, 知識及び技能を活用して楽しくおいしく食べるために, 健康・快適・安全などの視点から, 調理計画や調理の仕方を考え, 工夫することができる。
	主体的に学習に取り組む態度	健康・快適・安全などの視点から, 朝食の役割と栄養, いためる調理についての知識及び技能をよりよく身に付けようとしている。また, 調理計画や調理の仕方について考え, よりよく工夫しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)朝食の役割を考えよう			
<p>・毎日の生活をふり返り, 朝食の役割を考えよう。</p> <p>p.78～79</p>	1	<p>①教 p. 78 の写真Aさんの3日間の朝食から, 良い点や課題点を話し合い, 朝食の役割について考える。</p> <p>②自分の朝食のとり方のとり方をふり返り, 課題を見つけ, これからめざす朝食のとり方を考える。</p>	[思判表]発言・記録
(2)いためる調理で朝食のおかずを作ろう			
<p>・いろいろな食品のいため方が分かり, 栄養のバランスを考えた朝食のおかずを計画し実践する。</p> <p>p.80～84</p>	8	<p>①2つの朝食を比べて, どちらの食事がよいか話し合い, 主にどのような働きをする食品が含まれているか調べる。</p> <p>②栄養のバランスがよい食事について考える。</p> <p>③材料に応じた切り方, いためる順序, 火加減を調べ, 調理計画カードに記入し, いためる調理の計画を立てる。</p> <p>④切り方, いためる順序, 火加減に注目していためる調理をする。</p>	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
(3)朝食から健康な生活を始めよう			★他教科との関連: 体育
<p>・朝食の学習を生かし, 健康な生活を送るために家庭で朝食の計画を立てよう。</p> <p>p.85</p>	1	<p>①調理実習をふり返り, 計画通りに進められたか, 切り方やいためる順序, 火加減や味など, うまくいった点や課題点について話し合う。</p> <p>②学習したことを生かして, ご飯とみそ汁に付けた足す朝食のおかずの計画を考える。</p>	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察

題材名	11. 夏をすずしくさわやかに			教科書のページ	p.86～95
配当時数	8 時間	活動時期	6～7 月	学習指導要領の内容	B(4)ア(ア)(イ)イ, (6)ア(ア)イ

題材の目標		夏の快適な住まい方や衣服の着方と手入れについて、健康・快適・安全などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、夏を涼しく快適に過ごすための住まい方や着方・手入れについて考え、工夫することができる。
題材の観点別評価規準	知識・技能	住まいの働きや衣服の働き、季節の変化に合わせた生活の大切さが分かり、夏を涼しく快適に過ごすための住まい方や着方・手入れについて、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	夏の住まい方や衣服の着方と手入れについて、課題を見つけ、その課題の解決を目指して、知識及び技能を活用して夏を涼しく快適に過ごすために、健康・快適・安全などの視点から、住まい方や着方、手入れの仕方を考え、工夫することができる。
	主体的に学習に取り組む態度	健康・快適・安全などの視点から、住まい方や着方、手入れの知識及び技能をよりよく身に付けようとしている。また、適切な住まい方や着方について考え、よりよく工夫しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)夏の生活を見つめよう ★他教科との関連:社会			
・夏の生活の特徴から、工夫していることを見つけよう。 <p style="text-align:right">p.86～87</p>	1	①イラストや生活経験をもちに、夏の生活の特徴や工夫点を出し合い、自分の生活の問題点に気付く。 ②問題点をもとに、解決すべき課題を設定し、学習の見通しをもつ。 ③夏を快適に過ごす工夫を家庭で調べる。	[思判表] 発言・記録
(2)すずしくさわやかな住まい方や着方をしよう ★他教科との関連:理科, 体育			
・夏に快適に過ごすための住まい方や衣服の着方、手入れができるようになる。 <p style="text-align:right">p.88～93</p>	6	①調べた夏の生活の工夫を発表する。 ②気温、湿度、風通し、騒音について調べ、健康・快適の視点で、生活の問題を解決するための最適な方法を考える。 ③快適で安全な着方を考える。 ④家庭で調べた衣服の手入れの工夫を発表する。 ⑤衣服を気持ちよく、長く利用するための方法を考える。 ⑥洗濯の仕方を調べ、手順に従って手洗いをする。	[知技] 発言・行動観察 [思判表] 発言・記録 [態度] 発言・行動観察
(3)夏の生活を工夫しよう ★他教科との関連:理科			
・学習したことを、夏の生活の住まい方や衣服の着方、手入れの改善に活用しよう。 <p style="text-align:right">p.94</p>	1	①夏休みの暑い一日を自宅で快適に過ごすための工夫について話し合う。 ②工夫点をふまえ、相手や場所を設定し、夏を快適に過ごしてもらうための「夏のおもてなし計画」を考える。	[思判表] 発言・記録 [態度] 発言・行動観察

題材名	12. 思いを形にして 生活を豊かに			教科書の ページ	p.96～105
配当時数	14 時間	活動時期	9～11 月	学習指導要 領の内容	B(5)ア(ア)(イ)(ウ)イ

題材の目標		生活を便利で豊かにするための布を用いた製作について、健康・快適・安全などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、目的に合った製作計画を考え、製作を工夫することができる。
題材の 観点別 評価規準	知識・技能	布を用いた製作に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	布を用いた製作について、課題を見つけ、その課題の解決を目指して、知識及び技能を活用して生活を便利で豊かにするために、健康・快適・安全などの視点から、目的に合った製作計画を考え、製作を工夫することができる。
	主体的に学習に 取り組む態度	健康・快適・安全などの視点から、布を用いた製作の知識及び技能をより深く身に付けようとしている。また、目的に合った製作計画と製作について考え、よりよくしようと工夫している。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)目的に合った形や大きさ、ぬい方を考えよう			
・目的に合ったふくろなどを製作するために必要なポイントを考えよう。 p.96～97	1	①身の回りにある布製品を観察し、便利で長く使うための工夫について考える。 ②作りたいふくろやカバーをイメージして図に表す。	[思判表]発言・記録
(2)計画を立てて、工夫して作ろう			
・目的に合った布作品の製作計画を立て、安全に製作しよう。 p.98～103	12	①身近にあるふくろなどを観察して、出し入れしやすくするためのゆとりについて話し合い、目的に合った形や大きさを考える。 ②製作計画を立てる。 ③製作の途中で、製作計画や作品を友達と見せ合い、工夫できることについて話し合う。 ④製作計画に沿って、安全に注意し、工夫しながら布作品を製作する。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
(3)衣生活を楽しく豊かにしよう			
・製作を通して学んだことを生かして、生活を豊かにする計画を立てよう。 p.104～105	1	①使い心地や贈った相手に聞いた感想を報告し合い、工夫することの良さに気づく。 ②生活を豊かにする布作品の提案について意見交換し、製作計画を立てる。	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察

題材名	13. まかせてね 今日の食事			教科書のページ	p.106～114
配当時数	10 時間	活動時期	11～12 月	学習指導要領の内容	B(1)イ, (3)ア(ア)(イ)(ウ)イ, C(1)ア(ア)(イ)イ, (2)アイ

題材の目標		栄養を考えた食事について、健康・快適・安全などの視点から、課題をもって、1食分の献立と環境に配慮した調理に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、栄養のバランスを考えた1食分の献立を工夫することができる。
題材の観点別評価規準	知識・技能	1食分の献立と環境に配慮した調理について、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けている。日常生活に必要な消費や環境についての基礎的な知識・技能を身に付ける。
	思考・判断・表現	栄養を考えた食事について、課題を見つけ、その課題の解決を目指して、知識及び技能を活用して健康・快適・安全などの視点から、栄養のバランスを考え、1食分の献立を工夫することができる。・日常生活の中から消費生活・環境について問題を見だし、課題をもって考え解決する。
	主体的に学習に取り組む態度	健康・快適・安全、環境などの視点から、1食分の献立と調理についての知識及び技能をよりよく身に付けようとしている。また、栄養のバランスを考えた1食分の献立を考え、よりよく工夫しようとする。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)献立の立て方を考えよう			★他教科との関連:体育
・1食分の献立を立てるときに必要なことを考えよう。 p.106～107	1	①献立を立てるときには、栄養のバランスを整えて、主食・主菜・副菜に汁物を加えて食品を組み合わせてつくることを知る。	[思判表]発言・記録
(2)1食分の献立を立てて、調理しよう			★他教科との関連:社会
・1食分の献立を立てて、環境に配慮し調理しよう。 p.108～113	8	①いろいろな食品を使ってご飯とみそ汁を中心とした1食分の献立を考える。 ②必要な材料・分量、用具、手順を調べて調理計画を立てる。 ③買い物の仕方について考え、材料の準備をする。 ④家族が喜ぶおかず作りの調理実習を行う。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
(3)楽しく食事をするために計画を立てよう			
・楽しく食事をするための工夫について考えよう p.114	1	①みんなで楽しく食事をするために工夫できることについて考える。	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察

題材名	14. 冬を明るく暖かく			教科書のページ	p.116～121
配当時数	5 時間	活動時期	1～2 月	学習指導要領の内容	B(4)イ(6)アイ

題材の目標		冬の快適な住まい方や衣服の着方について、健康・快適・安全などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、冬を暖かく快適に過ごすための住まい方や着方について考え、工夫することができる。
題材の観点別評価規準	知識・技能	冬を暖かく快適に過ごすための住まい方や着方について基礎的・基本的な知識を身に付けている。
	思考・判断・表現	冬の住まい方や衣服の着方について、課題を見つけ、その課題の解決を目指して、知識及び技能を活用して冬を暖かく快適に過ごすために、健康・快適・安全などの視点から、住まい方や着方を考え、工夫することができる。
	主体的に学習に取り組む態度	健康・快適・安全などの視点から、住まい方や着方の知識をよりよく身に付けようとしている。また、適切な住まい方や着方について考え、よりよく工夫しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)冬の生活を見つめよう		★他教科との関連:社会	
<p>・冬の生活の特徴と自分の生活の問題をとらえる。</p> <p>p.116～117</p>	1	<p>①イラストや生活経験をもとに、冬の生活の特徴や工夫を出し合い、自分の生活の問題点に気付く。</p> <p>②問題点をもとに、解決すべき課題を設定し、学習計画を立てる。</p> <p>③冬を快適に過ごす工夫を家庭で調べる。</p>	[思判表]発言・記録
(2)暖かい着方や住まい方をしよう		★他教科との関連:体育, 理科	
<p>・寒い季節に快適に過ごすために衣服の着方や住まい方ができるようになる。</p> <p>p.118～120</p>	3	<p>①イラストの衣服の着方を考える。</p> <p>②暖かさの実験を行い、衣服の暖かい着方の仕組みを理解する。</p> <p>③暖房器具の特徴や安全に使うための注意点を調べる。</p> <p>④暖房器具の効果的な利用の仕方について話し合う。</p> <p>⑤教室や廊下の暖かさと明るさを調べる。</p> <p>⑥測定結果をもとに、日光の利用の仕方を考える。</p>	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
(3)冬の生活を工夫しよう			
<p>・これまで学習したことを生かして、自分の生活を見直し、冬の着方や住まい方の工夫を計画しよう。</p> <p>p.121</p>	1	<p>①学習したことを生かして学校でどのようなことができるのか話し合う。</p> <p>②イラストの男子の子の課題を見つけ、どんなアドバイスをするのかを考える。</p> <p>③1年生へ提案する冬の健康で快適な生活の計画を立てる。</p>	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察

題材名	15. あなたは家庭や地域の宝物			教科書のページ	p.122～127
配当時数	2 時間	活動時期	2～3 月	学習指導要領の内容	A(3)ア(イ)イ

題材の目標		家族や地域の人々との関わりについて、家族や地域の人々との協力などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識を身に付け、よりよい関わりについて考え、工夫することができる。
題材の観点別評価規準	知識・技能	家庭生活は地域の人々との関わりで成り立っていることが分かり、地域の人々との協力が大切であることを理解している。
	思考・判断・表現	家族や地域の人々との関わりについて、課題を見つけ、その課題の解決を目指して、知識及び技能を活用し、家族や地域の人々との協力などの視点から、よりよい関わりについて考え、工夫することができる。
	主体的に学習に取り組む態度	家族や地域の人々との協力などの視点から、家族や地域の人々との関わりについて知識をよりよく身に付けようとしている。また、その関わり方について考え、よりよく工夫しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)家族や地域の一員として			★他教科との関連:道徳
・自分や家族が、地域の人々とのどのように関わっているか考えよう。 p.122～123	0.5	①イラストを見て、自分の生活と地域の人々との関わりについて考える。 ②チェックポイントを参考に、協力の視点から、家族や地域の一員としての自分の生活を見直し、地域の人々とのどのように関わっているかを考える。	[思判表]発言・記録
(2)私から地域につなげよう！広げよう！			
・2年間の学習を生かして、地域や家庭をよりよくする工夫を考えよう。 p.124～125	1	①地域や家庭をよりよくする工夫を考え、2年間の学習を生かして、実践計画を立てる。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
(3)もっとかがやくこれからの私たち			★他教科との関連:社会
・家族の一員として家庭や地域でできることを考えよう。 p.126～127	0.5	①友だちの工夫やアドバイスを参考に家庭や地域をよりよくしていくために、地域の一員としてできることを考える。	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察